

名古屋市女性会館 開館40周年記念誌

名古屋市教育委員会

目 次

I 女性会館開館40周年記念事業

1. 特別講演会「ライフデザインと男女共同参画～現状から未来へ～」

・・ 1

II 女性会館事業のあゆみ（平成20年度から平成29年度まで）

事業展開・・ 5

1. 学習機会提供事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2. グループ活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

3. 情報収集提供事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

4. 学習相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

5. 施設等提供事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

6. 運営審議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

III 資 料

1. 歴代運営審議会委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

2. 年 表・・・ 38

I 女性会館開館40周年記念事業

1. 特別講演会「ライフデザインと男女共同参画～現状から未来へ～」

平成30年7月に、女性会館は開館40周年を迎えました。これを記念し、男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて講演会を開催いたしました。

少子化ジャーナリストの白河桃子氏をお招きし、「ライフデザインと男女共同参画」をテーマに、女性が自分らしくあるために、そして、豊かで活力のある男女共同参画社会を実現するために必要なことを様々な経験を踏まえながら講演いただきました。

(1) 内容

ア タイトル

女性会館40周年記念特別講演会「ライフデザインと男女共同参画～現状から未来へ～」

イ 日 時

平成30年6月24日（日）14時～15時30分

ウ 場 所

イーブルなごや（男女平等参画推進センター・女性会館）ホール

(2) 参加者数

女性 112人 男性44人 合計156人 （託児6人）

(3) アンケート結果（回答数99人：一部無回答あり）

ア 年代

10代2人 20代4人 30代10人 40代25人 50代31人 60代13人 70代14人

イ 居住

市内80人 市外10人 県外9人

ウ 職業

お勤め55人 自営7人 家事専業17人 無職13人 その他7人

エ 会館利用の有無

無20人 有79人

オ 参加して

とてもよかった 56 人 よかった 36 人 ふつう 2 人 よくなかった 0 人

カ 主な意見・感想

- ・これから社会に出て働いていく上で、とても役に立つお話を聞くことができました。
- ・今後の自身の働き方について考える良い機会になりました。
- ・女性の意識改革の時代とともに、企業、職場の改革の時代ということを感じました。
- ・本日の講座では社会の動きとの関連もあり、更に視野、考え方を広げることができました。
- ・社会のしくみについて理解できた。
- ・メディアの力が大きいのを知った。
- ・お話が分かりやすかったです。自身の生き方も振り返ることができました。
- ・本を読んで是非講演をききたかったので大変良かったです。とても興味深いお話でした。
- ・身近な話題で興味を持った上で、次第に社会や政治の問題に目が向く素晴らしい講演でした。
- ・データや資料、意識の持ち方などへのお話があり、とてもよかったと思います。家に帰ってからもう一度考えます。
- ・ご経験から具体例がきけて、勉強になりました。
- ・時代の変化を感じました。
- ・今後の社会を担う世代として意識改革をしていくことが大事であると知ることができた。
- ・女性活躍や働き方改革の考え方が理解できて今後の働き方のヒントになりました。
- ・大変勉強になりました。男女共同参画という言葉はあまり意識したこともなかったが、今後はしっかりと認識しなければならないと思った。

女性会館 **40th** 記念
特別講演会

ライフデザインと男女共同参画 ～現状から未来へ～

開館40周年を記念して、女性が自分らしくあるために、
そして、豊かで活力のある男女共同参画社会を実現するために
何が必要なのか。様々なご経験を踏まえながらお話いただきます。

Touko Shirakawa

しらかわ とうこ
講師 **白河 桃子**

少子化ジャーナリスト・作家・
相模女子大学客員教授

東京生まれ、私立雙葉学園、慶応義塾大学文学部社会学専攻卒。住友商事、リーマンブラザーズ
などを経てジャーナリスト、作家に。2008年中央大学教授山田昌弘氏と「婚活時代」を上梓、
婚活ブームの火付け役に。仕事、出産、両立など女性のライフキャリア、少子化、働き方改革、
女性活躍、ワークライフバランス、ダイバーシティなどがテーマ。大学生、高校生、若手社会人
のために**仕事、結婚、出産の切れ目ないライフプランニングを提唱**し、出張
授業多数。講演、テレビ出演多数。2018年1月発売の『広辞苑 第7版』に「婚活」が掲載される。



平成30年 **6月24日(日)14:00～15:30** 開場13:30

会場 イーブルなごや 3階ホール (名古屋市中区大井町7-25)

定員 300人、参加無料(整理券の事前申し込み必要)、託児20人(事前申込み・実費40円)

親子ルームあり♪
(3室・要予約)

**申込
方法**

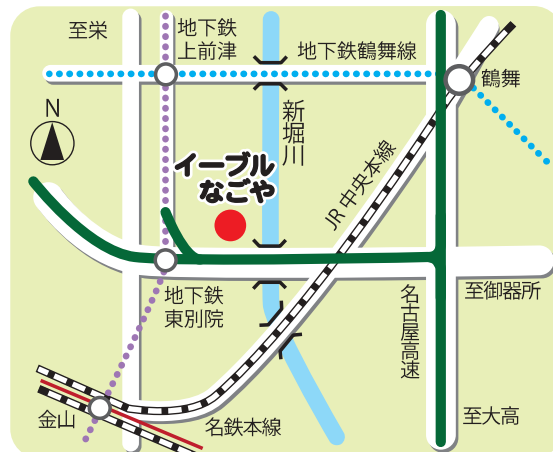
- ⑦ 往復はがき (往信表面:〒460-0015 名古屋市中区大井町7-25 イーブルなごや行
往信裏面:①住所 ②氏名 ③電話番号④子どもの名前・生年月日※託児希望者のみ記入
返信表面:あなたの住所・氏名 返信裏面:何も記入しない)
① イーブルなごや窓口 (返信用郵便はがき持参)
② インターネット (<http://e-able-nagoya.jp/lec/6269/>)
⑦・①・②のいずれかでお申し込みください。締切日は**5月22日(火)** 必着。

- ※ 託児は開催日に満1歳から小学校入学前までの子どもが対象
※ 手話通訳・要約筆記つき
※ 締切日に定員に満たない場合は、追加申し込み有。
① 電話(052-331-5288) ② イーブルなごや窓口 ③ インターネットにて申し込み

アクセス 地下鉄 名城線「東別院」下車1番出口から東へ徒歩3分
市バス 金山26系統 または 昭和巡回系統「大井町」バス停前

主催: 名古屋市・名古屋市教育委員会

運営: イーブルなごや (名古屋市 男女平等参画推進センター・女性会館)
〒460-0015 名古屋市中区大井町7番25号 <http://e-able-nagoya.jp/>
TEL(052)331-5288 FAX(052)322-9458



※この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

Ⅱ 女性会館事業のあゆみ（平成 20 年度から平成 29 年度まで）

事業展開

名古屋市女性会館は、名古屋市における女性学習の唯一の社会教育施設として、女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）につながる学習や女性と男性の意識改革に向けて、社会的性別（ジェンダー）の視点で学習する「学習の場」、男女共同参画社会の実現に向けて活動している団体・グループの「交流の場」、女性の主体的な学習の促進、女性の能力向上のための意識啓発に必要となる「情報提供の場」として事業を展開してきました。

また、平成 26 年度から一体的運営を行っている男女平等参画推進センターとの連携を一層進め、実効性のある充実した事業実施に努めています。

開館 40 周年を経た名古屋市女性会館は、今後も、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進する拠点施設として事業を展開していきます。

1. 学習機会提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方・エンパワーメント」「現代的課題」「社会参画」「子育て」の4本柱で年間を前期、後期の2期に分け、講座を実施しました。

年 度	期 間	講座名	講師
平成 20 年度	前期	表現する女たち～女も「だまっちゃいない」～ 「女と男のシャドウ・ワーク」から家族を科学する ～家族の心理学～ (名古屋短期大学連携) 障がいのある女性とともに シニアのためのファイナンシャルプラン イキイキ女性 輝け女性 自分らしく子育て 現代を生きるためのメディア講座 ボイストレーニングで心も身体もリフレッシュ	野村由美子 他 藤田 達雄 伊藤 憲治 他 菅田 芳恵 松山 正子 他 竹内 洋江 他 若松 孝司 金 末順
	後期	親子でいっしょ きらっと輝く 理系の女性 これからを生きるわたらしい生き方 若者たちは今～家族の視点から考える～ (子ども青少年局青少年自立支援室連携) 源氏物語の女性たち～千年の時を超えて～ こころのバリアフリー ～わたしからはじめましょう～ 子どもの成長・自立と親子関係 (名古屋学芸大学連携) 乳幼児期から思春期の子どもの育ちを支える (名古屋芸術大学連携) 子どもと一緒に学ぶ健康① (愛知県立看護大学連携) 子どもと一緒に学ぶ健康② (愛知県立看護大学連携) 〔なごや女性カレッジ〕 生涯学習と社会参画	託児の会「たんぽぽ」 他 坂東 昌子 他 グラバア俊子 他 中嶋 律子 他 外山 敦子 他 安藤 明夫 他 加藤 純一 他 野原 由利子 他 山口 桂子 他 笠岡 直子 他 松田 武雄

平成 21 年 度	前期	家族でいっしょ 「もしもの時」は私にまかせて！ ～女性の力を防災に活かす～ 輝いて生きる ～夢をもって キラキラと～ スポーツ発！とっておきの健康講座 (中京女子大学連携) こころのメール～障がいのある女性とともに～ 発見！ことばの力 お父さん 大好き♡ ～ご家族でどうぞ～	大森 隆子 他 いずみの会会員 他 永谷公美英 他 栄 和人 他 田中 良三 他 吉田あけみ 長谷川弘道 他
	後期	すてきな子育てしませんか (託児の会「たんぽぽ」連携) 知りたい！子どもの気持ち ～子どもの発達心理学～ (放送大学連携) 笑顔がいっぱい！ ～結婚差別のない社会をめざして～ 難聴者等支援ボランティア入門講座 (女性会館ボランティアグループ「イヤリング」連携) 地球にやさしい暮らしのすすめ (名古屋市立大学連携) 人生後半！はつらつと生きる 学校はこう変わる！ ～親として知っておきたい教育改革～ (名古屋学芸大学連携) 女性を取り巻くいま ～女性と生き方を考える～ (名古屋市立大学連携) きらっと輝く！なごやの女性 一緒に学びませんか～女性と生涯学習～ (名古屋市立大学連携) 〔なごや女性カレッジ〕 地域女性リーダーと生涯学習	市川まゆみ 他 松田 惺 井上 泰子 他 荒川 清美 他 岡村 穰 他 岡田 悦政 他 小野田章二 吉村 公夫 他 富安 玲子 他 山田 美香 松田 武雄

平成22年度	前期	点訳ボランティア入門講座 (点訳グループ 六点会連携) 楽！楽！子育て (託児の会「たんぽぽ」連携) 女性とメディア～あなたは大丈夫？～ こころのメール～障がいのある女性とともに～ 世界の女性たちは今 ～社会的性別（ジェンダー）とわたし～ いっぱい笑って、いっぱい話そう きらっと輝く！なごやの女性～文化編～ (名古屋開府 400 年記念事業実行委員会連携)	足立すみ子 託児の会「たんぽぽ」 他 水野 雅夫 他 小松理佐子 他 松本伊瑳子 他 山内 恵子 他 安田 文吉 他
	後期	子どもの幸せにつながる日米の教育 ～家庭・学校における教育から～ (名古屋学芸大学連携) ワタシ流の生き方宣言！ コミュニケーション上手のコツ伝授！～実践コーチング～ 私がデザインする私の暮らし ～芸術工学に学ぶ生活のデザイン～ (名古屋市立大学連携) 変革のとき 桃山～変化の時代を生きた女性たち～ (名古屋市博物館連携) 託児ボランティア養成講座 (託児の会「たんぽぽ」連携) みんな笑顔で暮らせる未来 ～外国人女性の人権から考える～ 自分で守るココロとカラダ 〔なごや女性カレッジ〕 女性の能力活用術！ ～さまざまな分野でのエンパワーメントを目指して～ (椙山女学園大学 女性リーダー育成教育研究会連携)	山田 敏子 菊地 夏野 他 原 絹代 溝口 正人 他 名古屋市博物館学芸員 浅野みどり 他 プリスカ・モロツィ 他 吉澤加奈子 他 東 珠実 他
平成23年度	前期	時代を超えて届くメッセージ ～女性の生き方から学ぶもの～ 点訳ボランティア入門講座 –Part I – (点訳グループ 六点会連携) めざそう！賢い消費者 (愛知県弁護士会連携) メディアの「現在」 ～メディアリテラシーを身に付ける～ こころのメール～障がいのある女性とともに～ 子どもの揺れるココロをつかめる親に 想いを伝える書き方・話し方 女性学入門 ～社会的性別（ジェンダー）で社会と人生を考える～ 親子でいっしょに“ホッと”タイム ～夫婦で子育てを楽しもう～	山田登世子 他 足立すみ子 加藤 志乃 他 北出真紀恵 他 柏倉 秀克 他 久利 恭士 他 千田 伸子 杉本貴代栄 他 託児の会「たんぽぽ」 他

	後期	点訳ボランティア入門講座 Part II – (点訳グループ六点会連携) 見つめよう！私のライフスタイル～笑顔輝く5つのステップ～ わたしの国を紹介します ～日本語でいっしょに話しましょう～ (ことばの会連携) 「家族」のかたち フェミニズムとベーシック・インカム ～家事労働問題の観点から～(名古屋市立大学連携) 気づくことからはじめよう ～さまざまな立場の女性の人権を考える～ 子どもを知って子育て力アップ！ (託児の会「たんぽぽ」連携) ココロとカラダをメンテナンス [なごや女性カレッジ] ファシリテーションはじめての一步	足立すみ子 佐藤みどり 他 伊藤スビエトラナ 他 中島 美幸 別所 良美 新井美千代 他 中西 由里 他 北川眞理子 他 林 芳孝 他
平成 24 年度	前期	高齢社会を切り拓く～いつか来る老後を乗り切るために～ (名古屋市立大学連携) 『女性学』明日へのパスポート こころのメール～障がいのある女性とともに～ 難聴者等支援ボランティア講座 Part 1 – (「イヤリング」連携) “1 歳”になりました！～楽しく子育てしましょう～ (託児の会「たんぽぽ」連携) 想いが伝わるコミュニケーション上達術 ～4 方向からのアプローチ～ 託児ボランティア養成講座 Part 1 – (託児の会「たんぽぽ」連携) きらっと輝く！なごやの女性～夢をもってがんばってます～	松村 文人 他 山田 綾 他 今村 彩子 他 高木いづみ 他 託児の会「たんぽぽ」 他 千田 伸子 託児の会「たんぽぽ」 松村亜矢子 他
	後期	描く女性 描かれる女性 生活をステキに彩る『女性学』 難聴者等支援ボランティア講座 Part 2 – (「イヤリング」連携) 心のバリアフリーへの一步 ～女性の就労問題と職業差別から～ 親を楽しむ小さな魔法ースター・ペアレンティングー (758キッズステーション) 託児ボランティア養成講座 Part 2 – (託児の会「たんぽぽ」連携) 映画にみる世界の女性 女性のココロとカラダ (名古屋市立大学連携) [なごや女性カレッジ] ファシリテーションの扉を開けよう (南山大学大学院教育ファシリテーション専攻連携)	山田登世子 他 藤原 直子 他 大橋千鶴子 他 池田 桂子 他 吉田愛奈巳 託児の会「たんぽぽ」 他 高野 史枝 窪田 泰江 他 岡田衣津子 他

平成 25 年度	前期	私が私らしくあるために ～生まれながらにもつ人権～ “1 歳” になりました！～楽しく子育てしましょう～ (託児の会「たんぽぽ」連携) 『女性学』明日へのエネルギーチャージ 女性のための健康『くすり』講座 (名古屋市立大学薬学研究科連携) 自分らしく生きるー身体と性と生をめぐってー こころのメール～障がいのある女性とともに～ 女性と表現 託児ボランティア養成講座 (託児の会「たんぽぽ」連携) 心理学～脳の本性とうまくつきあおう～ (名古屋市立大学人間文化研究科連携) 子どもの揺れる心をつかめる親に 〔なごや女性カレッジ〕体感！ファシリテーション (南山大学大学院教育ファシリテーション専攻連携)	今村 彩子 他 託児の会「たんぽぽ」 他 天童 睦子 他 菊池 千草 他 建石真公子 他 清水 浩子 他 榊原 千鶴 他 託児の会「たんぽぽ」 他 中川 敦子 千田 伸子 水野 節子 他
	後期	ワタシが変わる『女性学』 新・家族のかたち 親子でいっしょに“ホッと”タイム ～夫婦で子育てを楽しもう～ (託児の会「たんぽぽ」連携)	稲垣 尚子 他 中島 美幸 託児の会「たんぽぽ」 他
平成 26 年度	前期	『女性学』子育てママのわたし時間 点訳ボランティア入門講座1 (点訳グループ「六点会」連携) 〔なごや女性カレッジ〕 自他尊重の I (アイ) メッセージ ～アサーティブ・コミュニケーション～ (南山大学大学院教育ファシリテーション専攻連携) 私の“カラダ”をもっと知る ～毎日が輝くセルフケア～ こころのメール～障がいのある女性とともに～ 女性と経済～今こそ女性のチカラを生かすとき～ (名古屋市立大学経済学研究科連携) 託児ボランティア養成講座1 (託児の会「たんぽぽ」連携) 自然から学ぶ子育て！にこにこ子育て講座	佐藤 洋子 他 森 幸久 水野 節子 奥川ゆかり 他 藤下 直美 他 木村 匡子 他 託児の会「たんぽぽ」 他 酒井 立子

	後期	点訳ボランティア入門講座 2 (点訳グループ「六点会」連携) 差別のない明るい未来を ～子どもたちを取り巻く人権問題から考える～ イギリスにみる女性たち (名古屋市立大学人間文化研究科連携) ワタシらしく輝く『女性学』 私と家族の健康は毎日の生活から (名古屋文理大学短期大学部連携) 託児ボランティア養成講座 2 (託児の会「たんぽぽ」連携) 大衆文化の魅力～ジェンダーからみる世界～ 女性とメディア (東海学園大学人文学部連携)	森 幸久 成田由香子 他 松本 佐保 他 嶺崎 寛子 他 日比野久美子 他 託児の会「たんぽぽ」 他 小松史生子 近藤 洋子 他
	前期	幸せ時間が創る私と家族の未来 (東海学園大学連携) ココロとカラダのセルフケア (名古屋市立大学医学研究科連携) 明日につながる『女性学』 こころのメール～障がいのある女性とともに～ きらっと輝く！なごやの女性 託児ボランティア養成講座 1 (託児の会「たんぽぽ」連携) パパママ一緒に！ゆったり子育て (託児の会「たんぽぽ」連携) 難聴者等支援ボランティア養成講座 1	端井しげみ 他 窪田 泰江 他 堀内真由美 他 伊藤 葉子 他 さき みき 他 託児の会「たんぽぽ」 他 石橋 尚子 他 大橋千鶴子 他
平成 27 年 度	後期	託児ボランティア養成講座 2 (託児の会「たんぽぽ」連携) 難聴者等支援ボランティア養成講座 2 メディアが発信する女性～〇〇女子と呼ばれて～ 〔なごや女性カレッジ〕 ライフスタイルからみたキャリアデザイン (椙山女学園大学連携) 時代と社会の流れで紐解く 世界の女性たち (名古屋市立大学人間文化研究科連携) だれもが幸せになれる社会を ～結婚差別の現状から考える～ 「わたし」と「家族」 健康シニア！～女性が元気に暮らすために～ (名古屋文理大学短期大学部連携)	託児の会「たんぽぽ」 他 高木 富生 他 柳谷 啓子 吉田あけみ 他 山田 美香 他 中島 美幸 他 三枝麻由美 他 川畑 龍史 他

平成 28 年 度	前期	女性のカラダと「くすり」 (名古屋市立大学連携) こころのメール～障がいのある女性とともに～ 家族に届けるママの笑顔と思い 〔なごや女性カレッジ〕 女性のキャリアデザインを考える (梶山女学園大学連携) 託児ボランティア養成講座1 (託児の会「たんぽぽ」連携) 点訳ボランティア入門講座1 (点訳グループ「六点会」連携) 踏み出そう！輝く未来へ～男女がともに歩む道～	鈴木 亮 他 原 和子 他 増井さとみ 他 吉田あけみ 他 託児の会「たんぽぽ」 他 藤下 直美 乙部 由子 他
	後期	託児ボランティア養成講座2 (託児の会「たんぽぽ」連携) 点訳ボランティア入門講座2 (点訳グループ「六点会」連携) 未来を切り拓く女性学 メディアと社会的性別 (ジェンダー) ～雑誌や本の中の女性像～ 高齢期の女性の生き方 ～幸齢社会に向けたライフデザイン～ 女性の貧困と人権 ～一人ひとりが大切にされるまちを目指して～ にこにこ子育て・親育ち講座～幼児期の子ども編～ 女性のカラダと食のちょっといい話 (東海学園大学連携) 海を渡り届くメッセージ ～世界で活躍した女性たち～	託児の会「たんぽぽ」 他 藤下 直美 杉本貴代栄 他 中川 裕美 他 伊東眞理子 他 新井美佐子 他 山本 和之 他 松島 佳子 他 川島 慶子 他
平成 29 年 度	前期	古典文学を彩る女たち ～源氏物語とメディアリテラシー～ 女性のココロとカラダにきくお話サプリ (名古屋市立大学連携) 〔なごや女性カレッジ〕 これからの私のキャリアを考える (梶山女学園大学連携) こころのメール～障がいのある女性とともに～ 私が私らしく生きるために～学びたくなる女性学～ 難聴者等支援ボランティア養成講座1 (難聴者等支援ボランティア「イヤリング」連携) 託児ボランティア養成講座1 (託児の会「たんぽぽ」連携)	和田 明美 他 天谷 祐子 他 東 珠実 他 高尾 淳子 他 石田 好江 他 大橋千鶴子 他 託児の会「たんぽぽ」 他

	後期	難聴者等支援ボランティア養成講座 2 (難聴者等支援ボランティア「イヤリング」連携) 託児ボランティア養成講座 2 (託児の会「たんぽぽ」連携) ママの防災参画のススメ ～子どもたちの命と笑顔を守ろう～ 幸齢期、いつまでもイキイキ輝いて生きる (名古屋女子大学連携) あなたと私がつなぐ、輝く未来 自分らしく生きることを大切に ～結婚や出産など、人生のターニングポイントから考える～ 女性のためのアサーティブネス講座 ～コミュニケーション力をみがく！～ 多文化共生、はじめの一步 ～互いにわかりやすい日本語で話そう～ ワークから学ぶにこにこ子育て ～子どもの心に寄り添って～ (託児の会「たんぽぽ」連携)	大橋千鶴子 他 託児の会「たんぽぽ」 他 かもんまゆ 他 三宅 元子 他 柴田 良枝 他 小森 淳子 他 肥田 幸子 他 鈴木 勝代 他 仁里 文美 他
--	----	--	---

<主催講座学習者数>

(人)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	合計
学習者数	605	524	453	481	526	375	302	283	370	322	4,241

(2) 主催講演会

継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者など、幅広い市民を対象にして、男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる講演会等を開催しました。

年度	事業名	テーマ	講師	学習者数 (人)
平成 20 年度	特別講演会	女性会館開館 30 周年記念 “ひと” が輝いて生きるために ～ゆとり・優しさ・思いやり～	立教大学教授・精神科医 香山リカ	330
		女性会館開館 30 周年記念 樋口恵子さん講演会 「これからを生きる、私らしい生き方」 ～私の人生まだまだこれから！～ シンポジウム 「これからを生きる、 私らしい生き方」を考える	NPO 法人高齢社会をよくする 女性の会理事長 樋口 恵子 愛知淑徳大学教授 平林美都子 NPO 法人 いのちをバトンタッチする会代表 鈴木 中人 中日新聞編集局生活部次長 安藤 明夫 椋山女学園大学教授 東 珠実 ことばの杜 代表 山根 基世	380
		もう一度考えたい言葉の力	ことばの杜 代表 山根 基世	700
	まるはち の日事業	全盲のソプラノ歌手 大石亜矢子さんコンサート	ソプラノ歌手 大石亜矢子	350
	なごや 環境大学 共有講座	目からウロコのエコライフ	手あみ生涯学習グループ 田崎恵美子	47
	公開講座	なぜメディアを“学ぶ”のか ～高度情報化社会のもとで～ きらっと輝く理系の女性 これからの女性に期待すること	愛知淑徳大学 准教授 若松 孝司 日本物理学会キャリア支援 センター長 坂東 昌子	52 82
		見えにくい女性問題 ～次世代に何を伝えるか～ グローバリゼーションと 社会的性別（ジェンダー） メディアのなかの女性表現 男女共同参画社会ってなに？	名城大学 准教授 天童 睦子 中部大学 准教授 羽後 静子 愛知淑徳大学 准教授 小川 明子 名古屋大学大学院 准教授 田村 哲樹	40 40 40 40
	講習会	子育てパパママのための応急手当 講習会	応急手当研修センター 職員	36

平成 21 年度	特別講演会	おばあちゃんのガーデン ～映画とトーク～ ワーク・ライフ・バランス ～仕事も家庭も子育ても～ (男女平等参画推進センター共催) まちづくりと男女共同参画 ～阪神・淡路大震災の教訓から～	映画監督 リンダ・オーハマ 愛知淑徳大学 教授 平林美都子 日経 WOMAN 編集長 麓 幸子 弁護士 元芦屋市長 北村春江	315 150 157
	まるはち の日事業	これからの女性の生き方 ～中東アラブ女性も頑張っています！～	東部医療センター東市民病院 病院長 津田 喬子	109
	なごや 環境大学 共有講座	みんなで考えよう！いのちのつながり ～COP10 開催に向けて～	ビオトープを考える会会長 長谷川明子	40
	公開講座	女子レスリング選手の健康管理から 学ぶ真の健康づくりとは	中京女子大学 教授 日本レスリング協会女子強化委員長 栄 和人	80
		阪神・淡路大震災と女性 ～その時、何が起こったか～	毎日放送ラジオ局記者 震災番組プロデューサー 大牟田智佐子	86
		きっと笑って会える日を ～結婚差別の体験から～	らいとぴあ 21 井上 泰子	82
	シリーズ セミナー 「いま」を 読み解く	女性記者は語る ニュース！女性の視点	中日新聞記者 野村由美子 朝日新聞記者 川村真貴子 NHK記者 山本 恵子 名古屋テレビ記者 渡辺 千佳	110 115 108 152
平成 22 年度	国際セミナー	アジアからみる女性の人生	コーディネーター 愛知教育大学 山根 真理	88
	特別講演会	フライブルクのベランダから ～COP10 を機になごやの環境を考える～ 憧れの仕事に就いて15年、今思うこと (男女平等参画推進室との共催)	フライブルク市経済観光メッセ 公社日本・アジア業務窓口 前田 成子 CBC アナウンサー 丹野みどり	103 309
	なごや 環境大学 共有講座 ～COP10 開催に向 けて～	自然とともに生きる ～インテリアからの発信～ (生物多様性企画室連携)	インテリアデザイナー 服部 充代	50

	公開講座	笑って健康！！ ～上手なストレスマネジメント～ 開府 400 年、なごやの女性たち 北政所ねねと高台寺蒔絵 日本に住む南アフリカ女性の私 大阪弁しか知らんで ～あるコリアン女性の胸のうち～	名古屋学芸大学 講師 山内 恵子 南山大学 教授 安田 文吉 名古屋市博物館 学芸員 小川 幹生 南山大学他 講師 ジャズシンガー プリスカ・モロツィ 財団法人アジア・太平洋 人権情報センター 上席研究員 朴 君愛	274 137 179 69 78
	「いま」を 読み解く	女性と政治 ～どうなっている？ 女性の政治参画の実際～ 女性と暴力 ～女性の人権が確立されたまち、 なごやを目指して～ 女性と法律 ～オペラで綴る法律のおはなし～ 女性と超高齢社会 ～高齢期は第三の人生～	三重大学 教授 岩本美砂子 中京大学 准教授 柳本祐加子 男女平等参画推進センター相談室主幹 景山ゆみ子 朝日大学大学院法学研究科 教授 弁護士 大塚 鎔子 同朋大学 教授 伊藤眞理子	50 48 239 209
平成 23 年度	公開講座	シャネルの生き方 私にできること ～差別のない社会のために～	愛知淑徳大学 教授 山田登世子 オペラ歌手 渡辺千賀子	234 81
	「いま」を 読み解く	もっと知ろう！ハラスメント ～これってセクハラ！？パワハラ！？～ “あきらめない” 選択 ～仕事も家庭も、これからの人生も～ 性犯罪被害者の声を聴いてください 被災地支援に取り組む保健師が 語る「震災と女性」	弁護士 竹内 裕美 中日新聞編集局 局次長 林 寛子 アコースティックデュオ PANSAKU 名古屋市健康福祉局主査 日高 橘子	64 97 113 112
	名古屋市 博物館共催 特別展に みる 女性たち	古代メキシコ文明の女神たち 女性と観音信仰 狂言の物語世界と女性像 魅惑の芸術・描かれた女性たち ～ヴェネツィア展によせて～	名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員	136 230 96 162
	まるはちの日 講演会	47歳からの夢の実現 ～NYカーネギーホールに立って～	シャンソン歌手 遠藤 伸子	280
	なごや 環境大学 共有講座	地球温暖化で変わってきた！？ 「日本の天気と四季」	気象予報士 城田 敦子	103
	特別講演会	宇宙主夫。妻と娘と夢を追いかけて (男女平等参画推進室共催)	国際宇宙サービス代表 山崎 大地	330

平成 24 年度	公開講座	誰も知らない印象派 ～セーヌの娼婦たち～ 「死」の現場から ～私がこの仕事に就いたワケ～	愛知淑徳大学 教授 山田登世子 湯灌師 中村 典子	216 274		
	「いま」を 読み解く	がんばれ！女性スポーツ ～オリンピックの変遷と女性アスリートたち～ 子育ては楽しいことがいっぱい♪ ～自閉症の子とともに歩んで～ 被災地に学ぶ ～陸前高田市における生活再建の 現状と課題～ 〈なごや環境大学共育講座〉 地球からのおくりもの ～植物がつくりだす生物多様性～	中京大学 教授 来田 享子 椙山女学園大学 准教授 堀田あけみ 名城大学 准教授 柄谷 友香 名古屋大学博物館 准教授 西田佐知子	92 197 112 139		
		名古屋市 博物館共催 特別展に みる女性 たち 2012	名古屋の古墳時代と古代の女性たち マリー・アントワネット物語 芭蕉、そして芭蕉をめぐる女性たち 大須と遊郭 断頭台に散った女性たち	名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員	197 282 218 229 187	
			まはちの日 講演会	日本舞踊へのいざない ～名古屋をどりの歴史と舞台裏～	日本舞踊西川流師範 西川まさ子	158
			特別講演会	母への礼状 ～人生は生き方次第～ (男女平等参画推進室共催) 人生は8合目からがおもしろい	タレント 神野 三枝 登山家 田部井淳子	333 345
	公開講座			みんな一緒に生きよう ～タンザニアも日本も私の故郷～	スワヒリ語 講師 国嶋 ヤシンタ	101
	平成 25 年度		「いま」を 読み解く	《男性保健師奮闘記》 復興する力を“待つ”勇気 ～東日本大震災における被災地支援から～ 〈なごや環境大学共育講座〉 リケジョ教員が語る！ 「わたしたちのすまいとエネルギー」	名古屋市 保健師 平成24年度陸前高田市派遣保健師 唐川 祐一 名城大学 准教授 吉永 美香	61 73
開館35周年 記念セミナー きらっと輝く！ なごやの女性		中日新聞社 生活部記者 吉田 瑠里 ラジオパーソナリティー 川本 えこ カフェタナカ シェフパティシエ 田中 千尋		86 137 171		

	名古屋市博物館共催 特別展に みる女性 たち 2013	中国の王朝と女性たち 見世物とマジックの世界 ～女性マジシャン松旭斎天勝、登場～ 古代・中世のやきものの魅力 奥三河のくらしと花祭・田楽 文字で書きのこされた古代の女性たち 浮世絵における女性表現	名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館 学芸員 名古屋市博物館副館長 神谷 浩	195 89 92 136 154 203
	特別講演会	ニュースで伝えたいこと (男女平等参画推進室共催)	CBC アナウンサー 大石 邦彦	296
平成 26 年度	公開講座	自分らしさを求めて ～性同一性障がいとともに～ 遠い国の問題！？ 子どもの権利と児童労働	名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科 医師 TTS ファミリー代表 松尾かずな 認定 NPO 法人 ACE (エース) 子ども支援事業担当 成田由香子	106 42
	「いま」を 読み解く	〈なごや環境大学共育講座〉 未来へつなぐたからもの ～持続可能な社会をめざして～ “理系ママ” 脳研究の最先端をいく ～子育てと研究生活の両立～ 感性を磨き女性の力を職場に活かす ～高島屋グループ初の女性店長として～ 伝え続ける 被災者にとって必要な支援 ～東日本大震災 被災地での活動から～	名古屋大学大学院環境学研究科 特任准教授 杉山 範子	76
			名古屋大学大学院理学研究科教授 上川内あづさ	64
			ジェイアール東海高島屋 常務取締役 営業本部長 宇都宮優子	47
			日本赤十字豊田看護大学教授 奥村 潤子	44
名古屋市博物館共催 特別展に みる女性 たち 2014	描かれた女性の幽霊たち エピソードでたどる書の散歩道 ～伝わる女性の息づかい～	名古屋市博物館学芸員 瀬川 貴文 名古屋市博物館学芸員 山本 祐子	64 87	
	特別講演会	【名古屋市男女平等参画推進室・ 女性会館主催】 新しい“なごやのカタチ”を発信！	内閣府男女共同参画局長 佐村 知子 中京テレビアナウンサー 恩田千佐子	235

平成 27 年度	公開講座	輝く女性レポーター ～楽しく生きる！をモットーに～ 同和問題と差別 ～「Kakekomi 寺…結婚差別」の 相談から～	タレント・東海ラジオレポートドライバー さき みき ネットワーク Kakekomi 寺代表 大賀 喜子	64 55
	「いま」を 読み解く	女性の生き方を考える ～近代日本女性倫理思想の流れから～ 後悔しない生き方を ～乳がんを乗り越えて～ 平和構築を女性のチカラで ～夢や希望あふれる安心・安全な社会を～ 東日本大震災 県外避難者は語る ～めぐりあいの絆から～	神戸大学名誉教授 布川 清司	53
			NPO 法人バースデー健身代表理事 「ペイフォワード」コーチング・セミナー講師 岡田 有理	63
			名古屋大学准教授 西川由紀子	36
			めぐりあいの会代表 江本 潤子	59
	なごや 環境大学 共育講座	気候変動と私たちの暮らし ～未来の世代のためにできること～	名古屋文化短期大学講師 タレント 気象予報士 早川 敦子	60
	名古屋市 博物館共催 特別展に みる女性 たち 2015	いつだって猫といっしょ なごやめしのもと	名古屋市博物館学芸員 津田 卓子 名古屋市博物館学芸員 長谷川洋一	81 85
平成 28 年度	名古屋市 美術館 共催	女性作家たちが生み出す世界 ～アートとクラフトの融合～ 美しく 逞しく ～激動の時代を生きぬいた女性像～	名古屋市美術館学芸員 中村 暁子 名古屋市美術館学芸課長 山田 諭	36 124
	特別講演会	人気東大教授の笑って考えるジェンダー論 ～家庭のこと 仕事のこと 未来のこと～	東京大学教授 瀬地山 角	168
	公開講座	幸齢社会に向けた女性の生き方 ～自分らしく、生き生きと～ 女性の貧困事情は思ったより深刻 ～隠れた人権問題～	同朋大学特任教授 伊東眞理子	97
			名古屋大学准教授 新井美佐子	72
			一般社団法人パートナーシップ推進協会 代表理事 神 ひとみ	75
			名古屋大学教授 唯 美津木	61
平成 28 年度	「いま」を 読み解く	性犯罪被害を乗り越えて ～伝えたいあなたへのメッセージ～ 明日を担う女性化学者が語る ～触媒が拓く次世代エネルギーと未来～ 男女ともに大切にされる防災を目指して ～熊本地震から見えてきたもの～ 医療通訳者を育てる ～自分探しの先にあるもの～	名古屋市防災危機管理局 地域防災室主査 高木 美江	37
			藤田保健衛生大学大学院教授 竹迫 和美	47

	なごや 環境大学 共有講座	未来を拓くアグロエコロジー ～世界が支持する小さな農業～	愛知学院大学講師 関根 佳恵	53
	名古屋市 博物館共催 特別展に みる女性 たち 2016	アンコール王朝と魅惑の神々	名古屋市博物館学芸員 藤井 康隆	241
		ポンペイの美しき女神たち ～壁画に描かれた神話の世界～	名古屋市博物館学芸員 横尾 拓真	220
		衣生活から見た女性のチカラ	名古屋市博物館学芸員 佐野 尚子	56
	名古屋市 博物館共催	名古屋の人気絵師・張月樵の美人画	名古屋市博物館学芸員 横尾 拓真	120
	特別講演会	女性の活躍推進キックオフイベント 「女性の活躍でナゴヤはもっと輝く」	経済評論家 内閣府男女共同参画会議議員 勝間 和代	270
平成 29 年度	公開講座	子どものいのちを守るママになろう ～防災ママカフェ@イーブルなごや～	一般社団法人スマートサバイバープロジェクト 特別講師 かもんまゆ	33
		障がい者の結婚・出産・子育て ～自分らしく幸せになるために～	中部学院大学 人間福祉相談センター相談員 小森 淳子	50
	「いま」を 読み解く	女流能楽師からみた能の世界 リケジョの輝く未来	能楽師シテ方宝生流 衣斐 愛	143
		～女性研究者が増えると何が起こるのか～	名古屋大学准教授 佐々木成江	41
		アートの世界の愛しき女たち	名古屋市美術館学芸課長 井口 智子	89
	なごや 環境大学 共有講座	環境アレルギーと私たちの暮らし ～未来のためにできること～	環境アレルギーアドバイザー 加藤美奈子	42
	名古屋市 博物館共催 特別展に みる女性 たち 2017	シーボルトと家族たち	名古屋市博物館学芸員 加藤 和俊	164
		デザインの源流 ～松坂屋コレクションから～	名古屋市博物館学芸員 佐野 尚子	71
		ピーターラビット TM の原作者 ビアトリクス・ポター TM	名古屋市博物館学芸員 塚原 明子	86
		北斎漫画にみる女性たち	名古屋市博物館学芸員 津田 卓子	115
		優美なるレオナルド・ダ・ヴィンチ	名古屋市博物館学芸員 横尾 拓真	206
	特別講演会	女もつらいよ、男もつらいよ	大正大学准教授 田中 俊之	141

(2) 託児事業

幼児をもつ学習者を支援するため、託児事業を実施しました。(満1歳6カ月から小学校入学前までの幼児が対象)

年度	事業名	回数 (回)	参加者数 (人)
平成 20 年度	講座託児・講演会託児・月曜託児	104	933
	託児室交流会	6	120
	30 周年記念座談会	1	12
平成 21 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	86	868
	託児室交流会	6	113
	子育てグループ交流会託児	1	13
平成 22 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	90	837
	託児室交流会	4	56
平成 23 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	99	977
	託児室交流会	4	69
平成 24 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	102	1,158
	託児室交流会	4	119
平成 25 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	81	794
	託児室交流会	3	54
平成 26 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	85	498
	託児室交流会	4	38
平成 27 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	88	695
	託児室交流会	4	59
平成 28 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	100	1,026
	託児室交流会	6	98
平成 29 年度	講座託児・講演会託児・学習支援託児	91	686
	託児室交流会	6	74

利用者同士の交流を通じた仲間づくりの機会として、また、保護者が講座の学習を容易に利用できるようにするために、親子わくわくサロン（平成１８年度から平成２４年度まで）を実施しました。

年度	事業名	回数（回）	参加者数（人）
平成 20 年度	親子わくわくサロン	13	232
平成 21 年度	親子わくわくサロン	12	158
平成 22 年度	親子わくわくサロン	12	213
平成 23 年度	親子わくわくサロン	12	248
平成 24 年度	親子わくわくサロン	11	48

利用者同士の交流を通じた仲間づくりの機会として、また、保護者が講座の学習を容易に利用できるようにするために、中区役所等との連携事業としてなかっこ広場中区子育てネットワーク「なかっこ・ねっと」（平成２１年度から平成２５年度まで）を実施しました。

年度	事業名	回数（回）	参加者数（人）
平成 20 年度	なかっこ広場中区子育てネットワーク	7	198
平成 21 年度	なかっこ広場中区子育てネットワーク 「なかっこ・ねっと」	1	138
平成 22 年度	なかっこ広場中区子育てネットワーク 「なかっこ・ねっと」	1	178
平成 23 年度	なかっこ広場中区子育てネットワーク 「なかっこ・ねっと」	1	83
平成 24 年度	なかっこ広場中区子育てネットワーク 「なかっこ・ねっと」	1	199
平成 25 年度	なかっこ広場中区子育てネットワーク 「なかっこ・ねっと」	1	139

(4) なごや女性カレッジ

多様化、高度化する女性の学習ニーズに応えるため、大学と連携して、学習機会を提供しました。女性の生涯学習及びリーダーとしての資質の向上を図ることを目的としています。

(平成3年度から実施)

年度	テーマ	大学名	回数 (回)	学習者数 (人)
平成20年度	生涯学習と社会参画	名古屋大学との共催	7	49
平成21年度	地域女性リーダーと生涯学習	名古屋大学との共催	6	30
平成22年度	女性の能力活用術！ ～さまざまな分野でのエンパ ワーメントを目指して～	椋山女学園大学 女性リーダー育成教育研究 会との共催	5	24
平成23年度	ファシリテーション はじめの一步	南山大学大学院教育ファシリ テーション専攻との共催	5	36
平成24年度	ファシリテーションの 扉を開けよう	南山大学大学院教育ファシリ テーション専攻との共催	5	36
平成25年度	体感！ファシリテーション	南山大学大学院教育ファシリ テーション専攻との共催	5	36
平成26年度	自他尊重の I (アイ) メッセージ ～アサーティブ・コミュニケーション～	南山大学大学院教育ファシリ テーション専攻との共催	5	29
平成27年度	ライフスタイルからみた キャリアデザイン	椋山女学園大学との連携	5	14
平成28年度	女性のキャリアデザインを考 える	椋山女学園大学との連携	5	19
平成29年度	これからの私のキャリアを考 える	椋山女学園大学との連携	5	25

2. グループ活動支援事業

(1) イーブネット・フェスティバル（平成25年度まで）及びイーブルなごやフェスティバル（平成26年度から）

グループ活動支援として、グループがさまざまな発表を行い、市民とともに、課題解決に向けて学習・交流できる場の開設となっています。

年度	テーマ	参加者数（人）
平成20年度	伝える～わたしからあなたへ～	8,510
平成21年度	観る・聴く・話す～31年、次の一步を～	6,839
平成22年度	生き方多様性 in 女性会館	7,920
平成23年度	絆～今こそ思いをひとつに～	7,845
平成24年度	明日へ継ぐ力～人が人を支え、学び合う場からの発信～	6,254
平成25年度	ありがとう そして 新しい出会い	6,399
平成26年度	イーブルなごやでつながろう！ ～明日をつくるために～	32,739
平成27年度	男女で拓く新しいステージ	29,078
平成28年度	男女で創ろう認めあう社会 ～その人らしく生きるために～	31,576
平成29年度	つながろう！ひと・まち・未来が輝くために	31,039

(2) 研修会

ボランティア活動やグループ活動を支援するための研修会を開催しました。研修の積み重ねにより、主催講座・講演会での点訳・要約筆記ボランティア活動が軌道に乗り、定着してきました。

年度	事業名	回数（回）	参加者数（人）
平成 20 年度	点訳ボランティア研修会	1	9
	要約筆記ボランティア研修会	1	17
平成 21 年度	点訳ボランティア研修会	1	10
平成 22 年度	託児ボランティア研修会	5	114
	点訳ボランティア研修会	1	22
	要約筆記ボランティア研修会	1	6
平成 23 年度	託児ボランティア研修会	5	125
	要約筆記ボランティア研修会	1	6
平成 24 年度	託児ボランティア研修会	6	129
	要約筆記ボランティア研修会	1	5
	点訳ボランティア研修会	1	181
平成 25 年度	託児ボランティア研修会	5	109
	要約筆記ボランティア研修会	1	3
	点訳ボランティア研修会	1	55
平成 26 年度	託児ボランティア研修会	5	115
	要約筆記ボランティア研修会	1	3
	点訳ボランティア研修会	1	20
平成 27 年度	託児ボランティア研修会	5	103
	要約筆記ボランティア研修会	2	8
	点訳ボランティア研修会	1	29
平成 28 年度	託児ボランティア研修会	5	92
	要約筆記ボランティア研修会	2	7
	点訳ボランティア研修会	1	20
平成 29 年度	託児ボランティア研修会	5	86
	要約筆記ボランティア研修会	2	3
	点訳ボランティア研修会	1	7

(3) 交流会

グループのネットワークづくりを目的に交流会を開催しました。

多くの参加があり交流が深まっています。

年度	事業名	回数（回）	参加者数（人）
平成 20 年度	子育てグループ交流会	2	132
平成 21 年度	子育てグループ交流会	2	58
平成 22 年度	子育てグループ交流会	2	94
平成 23 年度	子育てグループ交流会	2	78
平成 24 年度	子育てグループ交流会	2	68
平成 25 年度	子育てグループ交流会	1	42
平成 26 年度	子育てグループ交流会	2	65
平成 27 年度	子育てグループ交流会	2	80
平成 28 年度	子育てグループ交流会	2	80
平成 29 年度	子育てグループ交流会	2	80

(4) おもちゃフォーラム

グループ活動支援とおもちゃを通して遊べる世代間交流の場を目的として、平成 20 年 11 月に「特別企画おもちゃフォーラム 2008」を開催し、108 人の参加がありました。

3. 情報収集提供事業

女性のエンパワーメントにつながる学習、女性問題の解決のための学習への導入を図るため、情報収集提供事業を行いました。

(1) 図書資料室の運営

【利用者等】

年度	利用者数（人）	利用者数の うち貸出利 用者数（人）	貸出利用 冊数（冊）	予約・ リクエスト 件数（件）	新規登録 者数（人）
平成 20 年度	19,675	2,679	6,498	119	182
平成 21 年度	16,030	2,321	5,153	49	184
平成 22 年度	15,614	1,893	4,225	40	186
平成 23 年度	15,017	2,480	4,329	42	163
平成 24 年度	13,562	2,565	4,004	59	194
平成 25 年度	5,893	925	1,474	18	63
平成 26 年度	—	924	2,075	7	208
平成 27 年度	—	1,077	2,688	12	198
平成 28 年度	—	1,279	3,199	25	176
平成 29 年度	—	939	2,183	33	120
合 計	85,791 (20 年度～25 年度)	17,082	35,828	404	1,674

【蔵書数・所蔵数】

(平成 20 年度～平成 25 年度)

年度	図書(冊)	雑誌(種)	全国行政 機関発行 資料 [冊子] (冊)	全国行政 機関発行 資料 [機関誌] (冊)	全国ミニ コミ誌 [紙](種)	新聞(紙)	ビデオ (巻)
平成 20 年度	24,811	148	12,805	377	550	7	487
平成 21 年度	24,981	148	12,996	377	550	17	516
平成 22 年度	24,881	148	13,138	377	550	30	513
平成 23 年度	25,031	148	13,248	377	550	30	513
平成 24 年度	25,268	148	13,312	377	550	30	513
平成 25 年度	19,003	148	1,946	85	96	30	253

(平成 26 年度～平成 29 年度)

年度	図書・資料 計				
		図書 ※ 1 (冊)	雑誌 ※ 2 (冊)	資料 ※ 3 (冊)	VTR、DVD、 CD-ROM (点)
平成 26 年度	28,085	19,453	4,822	3,538	272
平成 27 年度	28,962	20,109	4,954	3,623	276
平成 28 年度	29,462 (29,493)	20,422 (20,437)	5,063 (5,064)	3,712 (3,715)	265 (277)
平成 29 年度	29,874 (29,915)	20,634 (20,659)	5,176 (5,177)	3,798 (3,801)	266 (278)

※ 1 参考図書、児童図書含む

※ 2 「女性展望」「We learn」「女たちの 21 世紀」「婦人公論」など

※ 3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など。

※ 4 平成 28 年度、平成 29 年度 () 内は除籍した資料を含む。

(2) 情報の提供

平成12年度よりホームページを開設しました。平成26年度より指定管理者へホームページの構築・運用業務を委託しました。

ホームページのアクセス件数(1)

(件)

年度	トップページ	主催講座	講演会などのイベント	情報収集提供事業	ブックガイド	雑誌一覧	新着図書情報	ブックフェア	学習相談
平成20年度	27,381	9,799	15,849	1,979	2,613	897	6,480	248	701
平成21年度	28,327	10,376	17,794	1,911	—	789	7,192	263	740
平成22年度	21,769	10,314	13,723	2,155	—	1,028	9,699	414	728
平成23年度	23,354	10,764	15,406	1,831	—	591	8,971	536	769
平成24年度	26,086	13,402	17,703	2,609	—	618	7,760	518	844
平成25年度	21,044	9,569	11,037	1,958	—	493	4,814	386	650

ホームページのアクセス件数（２）

（件）

年度	月曜託児・託児事業	施設利用のご案内	使用料	施設概要	リンクページ	施設のあらまし	交通案内	合計
平成 20 年度	1,038	15,371	2,688	5,079	1,515	—	—	91,638
平成 21 年度	1,919	12,615	2,526	3,872	1,222	—	8,632	98,178
平成 22 年度	2,269	7,467	2,201	3,123	1,155	658	7,336	84,039
平成 23 年度	2,890	2,437	5,810	4,264	1,021	938	12,042	91,624
平成 24 年度	4,227	6,666	2,783	4,632	1,078	1,059	14,308	104,293
平成 25 年度	2,071	5,971	2,396	3,576	844	611	9,589	75,009

4. 学習相談事業

多様化、高度化する学習ニーズに応えるため、女性の学習課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら学習し情報収集できるよう、職員による学習相談を実施しました。

学習相談により、学習課題解決につながっていきます。

【内容別相談件数】

(件)

年度	学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資格)	学習 プ ロ グラム	その他	合計
平成 20 年度	12	7	6	4	7	173	3	11	223
平成 21 年度	0	1	0	0	1	161	0	0	163
平成 22 年度	1	3	111	0	0	80	3	1	199
平成 23 年度	1	0	125	0	0	60	6	0	192
平成 24 年度	0	0	105	0	0	31	0	1	137
平成 25 年度	0	0	27	0	0	6	0	0	33
平成 26 年度	5	1	1	0	9	78	0	9	103
平成 27 年度	4	2	0	0	1	45	0	7	59
平成 28 年度	139	14	44	1	2	103	2	229	534
平成 29 年度	102	27	46	3	1	96	6	300	581
合 計	264	55	465	8	21	833	20	558	2,224

5. 施設等提供事業

(1) 貸室施設利用状況

女性会館には、研修室・会議室・集会室とホールがあり、講座、講演会、研修会などの主催事業や、団体・グループによる学習活動や交流の場として利用されています。平成 25 年度までは研修室・会議室・集会室が 17 部屋でしたが、男女平等参画推進センターと女性会館の統合による改修工事で、研修室 3 部屋と多目的ルーム 1 部屋を新設しました。ホール 1 を含め、貸室は全 22 部屋となりました。

平成 20 年度から平成 29 年度末までの 10 年間の利用者数は、団体・グループの貸室利用者 2,171,881 人、主催事業参加者 142,083 人の計 2,313,964 人で、1 日当たりの利用者は平均 731 人となっています。(表 1、図 1)

表 1 貸室施設年度別利用者数 (人)

年 度	貸 室(託児室含む)	主催事業	合 計
昭和 53 年度 ～62 年度合計	999,769	152,606	1,152,375
昭和 63 年度 ～平成 9 年度合計	1,713,089	176,637	1,889,726
平成 10 年度 ～平成 19 年度合計	2,082,484	117,733	2,200,217
平成 20	223,196	17,967	241,163
21	228,030	17,074	245,104
22	217,310	20,631	237,941
23	216,208	17,744	233,952
24	223,282	18,065	241,347
25	115,010	9,736	124,746
26	226,418	6,731	233,149
27	238,301	10,313	248,614
28	238,955	12,852	251,807
29	245,171	10,970	256,141
平成 20 年度 ～平成 29 年度合計	2,171,881	142,083	2,313,964

※平成 25 年度は平成 25 年 10 月 14 日から平成 26 年 3 月 31 日まで改修工事のため休館

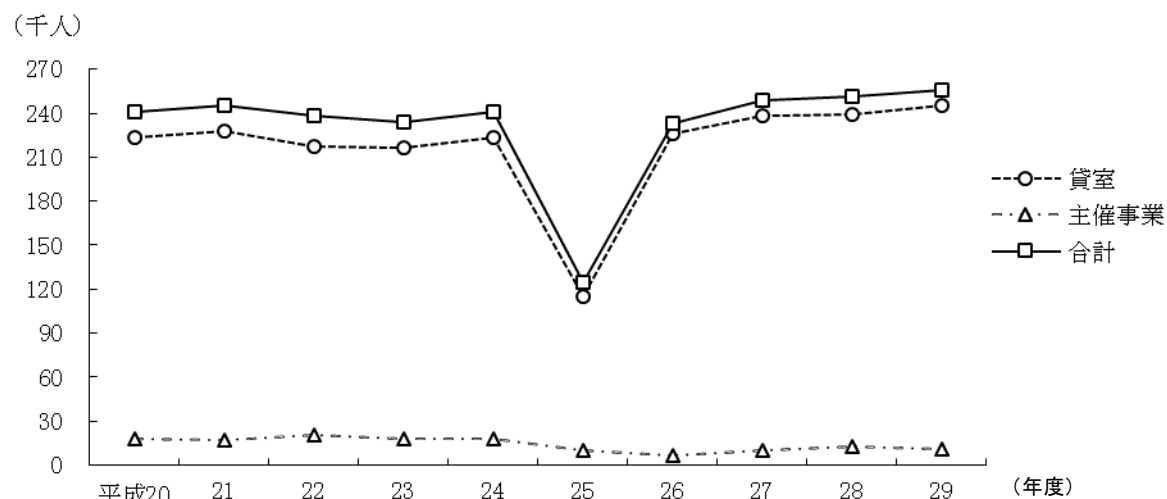


図1 貸室施設利用者数の推移

貸室利用者 2,171,881 人のうち、女性は 1,637,714 人（男性 534,167 人）で、75.4%を占めています。

貸室利用者の 40 年間の推移をみると、平成 3 年の女性情報センターのオープン、平成 16 年の集会室増設、男女平等参画推進センターとの統合による集会室等の増設と、施設増設のたびに増加しています。その結果、開館当初の 10 年間と比較してみると、利用者数は 2 倍以上に増加しました。なお、平成 25 年度の利用者・件数の減少は、男女平等参画推進センターとの統合のための大規模改修に伴う休館が影響しているものです。

表2 年度別貸室利用者数（主催事業を除き、託児室含む）

年度	女性				男性				合計				開館日数 (日)
	全体	午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	
昭和53年度 ～62年度合計	685,860	260,648	290,417	134,795	313,909	36,023	117,926	159,960	999,769	296,671	408,343	294,755	2,836
昭和63年度 ～平成9年度合計	1,340,152	503,987	582,158	254,007	372,937	65,389	150,499	157,049	1,713,089	569,376	732,657	411,056	3,102
平成10年度 ～平成19年度合計	1,650,337	615,152	683,739	351,446	432,147	96,374	176,152	159,621	2,082,484	711,526	859,891	511,067	3,219
平成20	172,588	65,709	67,151	39,728	50,608	12,956	18,952	18,700	223,196	78,665	86,103	58,428	321
21	180,183	68,021	71,711	40,451	47,847	11,476	18,368	18,003	228,030	79,497	90,079	58,454	321
22	171,986	64,650	65,907	41,429	45,324	10,475	16,151	18,698	217,310	75,125	82,058	60,127	321
23	167,218	62,170	62,236	42,812	48,990	11,029	17,057	20,904	216,208	73,199	79,293	63,716	323
24	172,335	65,736	65,998	40,601	50,947	12,005	19,239	19,703	223,282	77,741	85,237	60,304	321
25	89,006	32,388	33,992	22,626	26,004	5,712	9,320	10,972	115,010	38,100	43,312	33,598	176
26	165,796	62,040	64,054	39,702	60,622	13,976	23,300	23,346	226,418	76,016	87,354	63,048	347
27	173,697	65,974	69,099	38,624	64,604	16,939	24,879	22,786	238,301	82,913	93,978	61,410	348
28	169,185	64,730	68,529	35,926	69,770	18,822	26,933	24,015	238,955	83,552	95,462	59,941	347
29	175,720	68,439	69,117	38,164	69,451	18,784	26,064	24,603	245,171	87,223	95,181	62,767	341
平成20年度 ～平成29年度	1,637,714	619,857	637,794	380,063	534,167	132,174	200,263	201,730	2,171,881	752,031	838,057	581,793	3,166
昭和53年度 ～平成29年度	5,314,063	1,999,644	2,194,108	1,120,311	1,653,160	329,960	644,840	678,360	6,967,223	2,329,604	2,838,948	1,798,671	12,323

時間帯別の貸室利用者数で見ても、どの時間帯でも女性が7割以上を占めています。平成10年度から20年度の男女比率と比較すると、やや利用者数の男性の利用が増加しています。しかし、開館当初、夜間の利用者はむしろ男性のほうが多かったことを考えると、平成20年から29年も女性の学習の場として活用されてきたことがわかります。

この10年間の貸室利用件数は130,469件、利用率は、平成26年度を除きいずれの年も70%を上回りました。平成25年度に大規模改修のため長期休館をしたため、利用者が離れ、平成26年度の利用率が低下したものと考えられます。(表2)

表3 貸室施設の部屋別利用件数

(件)

年度 部屋名		平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	平成20 ～29 合計
大会議室		696	711	684	647	719	379	624	664	641	651	6,416
中会議室		779	816	786	689	774	452	691	738	782	792	7,299
小会議室		794	812	803	806	828	443	671	714	744	753	7,368
大研修室		796	816	788	788	783	430	681	755	776	796	7,409
第一研修室		682	740	721	698	706	375	646	705	696	703	6,672
第二研修室		626	673	668	671	664	339	582	640	632	620	6,115
第三研修室		661	694	698	672	687	354	653	747	800	758	6,724
第四研修室		758	771	784	703	780	432	658	736	749	735	7,106
第五研修室		-	-	-	-	-	-	672	784	822	814	3,092
第六研修室		-	-	-	-	-	-	643	749	803	800	2,995
第七研修室		-	-	-	-	-	-	695	753	784	773	3,005
和 室	(1)	671	693	682	657	690	344	446	647	668	673	6,171
	(2)	570	584	618	598	587	292	345	525	519	526	5,164
	小計	1,241	1,277	1,300	1,255	1,277	636	791	1,172	1,187	1,199	11,335
生活科学研修室		653	673	627	695	637	328	432	519	513	535	5,612
視聴覚室		615	628	668	658	601	324	572	609	645	650	5,970
文化活動室		862	860	827	838	833	466	728	822	820	830	7,886
第一集会室		710	760	739	767	763	418	653	708	726	726	6,970
第二集会室		763	784	784	795	796	442	658	709	721	767	7,219
第三集会室		785	797	775	792	812	452	626	772	798	805	7,414
第四集会室		726	751	773	770	753	406	663	707	717	741	7,007
多目的室		-	-	-	-	-	-	714	868	873	877	3,332
ホール		388	365	367	374	420	189	315	355	360	390	3,523
合 計	利用件数	12,535	12,928	12,792	12,618	12,833	6,865	13,368	15,226	15,589	15,715	130,469
	利用率(%)	75	78	77	76	77	75	62	71	73	75	-

平成 26 年度の第五、六、七集会室及び多目的室の増設は、男女平等参画推進センターとの統合の際に、旧施設が保有していた貸室数及び利用可能人数を担保するものとして整備したものです。登録団体として承認された女性団体または男女平等参画推進団体は、ホール以外の貸室申し込みをインターネットから行うことが出来るようになりました。

(2) 活動コーナー、印刷機の設置等

ア 活動コーナー

活動コーナーは、扉のないオープンなスペースであり、登録団体や学習グループがいつでも自由に打ち合わせをしたり、簡単な作業をしたりできるようになっており、そこから生まれるグループ間の交流もねらいとしています。

イ 印刷機

事務室前に複写機（コピー機）を設置し、利用者の学習にお役立ていただいています。

ウ ロッカー

継続的に会館を利用する女性または男女平等参画推進団体・グループの活動の便を図るため、会館内にロッカーを設置し、無料で貸し出しを行っています。

6. 運営審議会

女性会館の事業の運営について審議するため、教育委員会の附属機関として、昭和 53 年 9 月に設置されました。

運営審議会は、名古屋市女性会館条例により、委員 12 人以内で組織されることになっており、①社会教育に関する団体の代表者、②学識経験者、③関係行政機関の職員から委嘱することとされていました。委員の任期は 2 年で、運営審議会は通常年 3 回開催され、各年度の事業計画案、主催事業の企画案、会館の運営状況、利用状況などについて審議されていました。

平成 26 年度より運営協議会の設置及び実施を指定管理者に委託し、年 2 回各年度の事業計画案、主催事業の企画案、会館の運営状況、利用状況などについて審議されています。

Ⅲ 資料

1. 歴代運営審議会委員

	第17期 (H22.9.1～H24.8.31)	第18期 (H24.9.1～H26.3.31)
社会 教育 団体	◎ 加藤 玲子 (市地域女性団体連絡協議会会長) 伊藤 武子 (西区地域女性団体連絡協議会会長) 寺本 充 (市立小中学校PTA協議会副会長) → 池田 和隆 (市立小中学校PTA協議会副会長) → 佐藤 泰久 (市立小中学校PTA協議会副会長) 伊藤 ゆかり (なごや消費者団体連絡会理事) 桜井 真弓 (情報ネットワーク協会役員)	谷本 雅子 (港区地域女性団体連絡協議会役員) 佐藤 泰久 (市立小中学校PTA協議会副会長) → 中野 桂 (市立小中学校PTA協議会副会長) 桜井 真弓 (託児の会「たんぽぽ」元会長) 山崎 すみ子 (情報ネットワーク協会会長)
学識 経験者	東 珠実 (椋山女学園大学教授) 石田 裕久 (南山大学教授) ○ 富安 玲子 (愛知淑徳大学教授) 野村 由美子 (中日新聞社編集局生活部記者) → 境田 未緒 (中日新聞社編集局生活部記者) 松田 武雄 (名古屋大学大学院教授)	東 珠実 (椋山女学園大学教授) 石田 裕久 (南山大学教授) 境田 未緒 (中日新聞社編集局生活部記者) 松田 武雄 (名古屋大学大学院教授) 川久保 圭子 (公募委員)
行政 機関	岩田 敏子 (愛知県男女共同参画室長) → 牛嶋 早苗 (愛知県男女共同参画室長) 赤木 宗郎 (名古屋法務局人権擁護部第一課長) → 所 満 (名古屋法務局人権擁護部第一課長)	牛嶋 早苗 (愛知県男女共同参画室長) → 伊藤 康子 (愛知県男女共同参画室長) 所 満 (名古屋法務局人権擁護部第一課長) → 片野 靖江 (名古屋法務局人権擁護部第一課長)

2. 年表

年度	女性会館	名古屋市	日本 ※は世界
20 [2008]	・主催講座—21講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、 現代的課題、社会参画、子育て 7月・開館30周年記念式典 記念講演会 立教大学教授・精神科医・香山リカ 「“ひと”が輝いて生きるために」 8月・まるはちの日事業 「全盲のソプラノ歌手・ 大石亜矢子コンサート」 11月・託児の会たんぽぽ 教育委員会表彰 11月・イーブネットフェスティバル2008 「伝える～わたしからあなたへ～」 12月・開館30周年記念講演会 評論家・樋口恵子 「これからを生きる 私らしい生き方」 大井プール閉鎖	・配偶者暴力相談支援センター設置	・男女共同参画ヤングリーダー会議 開催 ・男女の仕事と生活の調和(ワーク ライフバランス)推進事業の開催 ※第52回国連女性の地位委員会開催 (国連本部) ※アジア太平洋地域の女性リーダー エンパワメントセミナーの開催 ・「女性の参画加速プログラム」男女 共同参画推進本部決定 ・女子差別撤廃条約実施状況第6回 報告提出
21 [2009]	・主催講座—19講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、 現代的課題、社会参画、子育て 11月・イーブネットフェスティバル2009 「観る 聴く 話す ～31年 次の一歩を」 8月・まるはちの日事業 東部医療センター 東市民病院院長・津田 喬子 「これからの女性の生き方 ～中東アラブ女性も頑張っています！～」 9月・特別講演会 映画監督・リンダ・オーハム 愛知淑徳大学・教授 平林美都子 「おばあちゃんのガーデン ～映画とトーク～」 12月・特別講演会 日経WOMAN編集長・麓 幸子 「ワーク・ライフ・バランス ～仕事も家庭も子育ても～」 (男女平等参画推進センター共催) 3月・特別講演会 弁護士 元芦屋市長・北村春江 「まちづくりと男女共同参画 ～阪神・淡路大震災の教訓から～」	・第3期名古屋市男女平等参画審議会 より『「男女平等参画プランなごや21」 に基づく取り組みの評価と新プラン策定 に向けた基本的方向性について』答申 ・「名古屋市配偶者からの暴力防止 及び被害者支援基本計画」策定	・男女共同参画シンボルマーク決定 ・「育児・介護休業法」改正 ・女子差別撤廃条約実施状況第6回 報告審議 ※ESCAP「北京行動綱領」実施に 関するハイレベル政府間レビュー会合
22 [2010]	・主催講座—16講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、 現代的課題、社会参画、子育て 11月・イーブネットフェスティバル2010 「生き方多様性 in 女性会館」 12月・特別講演会 フライブルク市経済観光メッセ公社 日本・アジア業務窓口・前田 成子 「フライブルクのベランダから ～COP10を機になごやの環境を考える～」 1月・特別講演会 CBCアナウンサー・丹野 みどり 「憧れの仕事に就いて15年、今思うこと (男女平等参画推進室との共催)	・「男女共同参画基本計画(第3次)」策定	・「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・ バランス)憲章」及び「仕事と生活の 調和推進のための行動指針」改定 ・「第3次男女共同参画基本計画」 閣議決定 ・APEC第15回 女性リーダーズネットワーク (WLN)会合東京開催 ※国連「北京+15」記念会合 (ニューヨーク)

23 [2011]	・主催講座—18講座 観点:女性の生き方、エンパワメント、 現代的課題、社会参画、子育て 8月・まるはちの日事業 シャンソン歌手・遠藤伸子 「47歳からの夢の実現 ～NYカーネギーホールの舞台に立って～」 10月・名古屋市の事業仕分けで 「廃止」の判定 11月・イーブネットフェスティバル2011 「絆～今こそ思いをひとつに～」 利用者により女性会館存続の署名運動が 実施され、名古屋市に提出 1月・特別講演会 国際宇宙サービス代表・山崎大地 「宇宙主夫。妻と娘と夢を追いかけて」 (男女平等参画推進室との共催)	・第4期名古屋市男女平等参画審議会 より『「新男女平等参画プラン」(仮称) の策定に向けて』答申 ・「名古屋市男女平等参画基本計画 2015」策定 ・DV被害者支援ニーズ調査の実施	・「東日本大震災復興基本法」 交付・施行 ・「日本再生の基本戦略」閣議決定 ・「社会保障・税一体改革大綱」 閣議決定 ※UNWomen正式発足
24 [2012]	・主催講座—17講座 観点:女性の生き方、エンパワメント、 現代的課題、社会参画、子育て 8月・まるはちの日事業 日本舞踊西川流師範・西川まさ子 「日本舞踊へのいざない ～名古屋をどりの歴史と舞台裏～」 10月・名古屋市が2年後男女平等参画 推進センターを女性会館に移転し 運営を一体化し、事実上統合する ことに決定 11月・イーブネットフェスティバル2012 「明日へ継ぐ力 ～人が人を支え学びあう場からの発信～」 1月・特別講演会 タレント・神野三枝 「母への礼状～人生は生き方次第～」 3月・特別講演会 「人生は8合目からが面白い」 登山家・田部井淳子 (男女平等参画推進室との共催)	・「名古屋市配偶者からの暴力防止 及び被害者支援基本計画(第2次)」 策定 ・男女施設の総合的な拠点施設に係る 他都市調査	・「女性の活躍促進による経済活性化 行動計画」策定 ・「子ども子育て関連3法」成立 ・「国立女性教育会館の在り方に 関する検討会報告」公表 ・「独立行政法人の制度及び組織の 見直しの基本方針」閣議決定 ※「第1回女性に関するASEAN閣僚 級会合」開催
25 [2013]	・主催講座—14講座 観点:女性の生き方、エンパワメント、 現代的課題、社会参画、子育て 7月・開館35周年記念セミナー① 中日新聞社生活部記者・吉田瑠里 「三つ子を育てて ～母であり新聞記者であること～」 7月・開館35周年記念セミナー② ラジオパーソナリティ・川本えこ 「マイナス要素こそ幸運パワーになる ～ラジオパーソナリティの実話～」 9月・開館35周年記念セミナー③ カフェタナカ・シェフパティシエ・田中千尋 「心に響くおいしさ絵の情熱 ～好きなことのためにばんがれる幸せ～」 9月・イーブネットフェスティバル2013 「ありがとう そして 新しい出会い」 10月・特別講演会 CBCアナウンサー・大石邦彦 「ニュースで伝えたいこと」 (男女平等参画推進室との共催) 10月・女性会館に 男女平等参画推進センター移転の ための改築工事により、3月まで休館		・「男女共同参画の視点からの防災・ 復興の取組指針」公表 ・「改正ストーカー規制法」施行 ・「配偶者からの暴力の防止及び被害 者の保護等に関する法律」改正 ・「次世代育成支援対策推進法」改正 ※APEC「女性経済フォーラム」開催

26 [2014]	・主催講座—16講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、現代的課題、社会参画、子育て 4月・女性会館と男女平等参画推進センター 統合 愛称「イーブルなごや」 指定管理者制度導入 6月・特別講演会 内閣府男女共同参画局長・佐村知子 中京テレビアナウンサー・恩田千佐子 「新しい“なごやのカタチ”を発信！」 男女平等参画推進室共催 12月・イーブルなごや・フェスティバル2014 「イーブルなごやでつながろう ～明日をつくるために～」	・「名古屋市総合計画2018」策定 ・第8回男女平等参画基礎調査の実施 ・男女平等参画に関する大学生の意識調査の実施	・「パートタイム労働法」改正 ・「女性のチャレンジ応援プラン」策定 ・「国立女性教育会館における政策機能を強化するための関係府省と連携しての運営・組織体制の在り方について」公表
27 [2015]	・主催講座—16講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、現代的課題、社会参画、子育て 6月・イーブルなごや・フェスティバル2015 「男女(みんな)で拓く新しいステージ」 特別講演会 東京大学教授・瀬地山角 「人気東大教授の笑えるジェンダー論 ～家族のこと 仕事のこと 未来のこと～」	・第7期名古屋市男女平等参画審議会 『「次期男女平等参画推進基本計画」 (仮称)の策定に向けて」答申	・「女性の職業生活における活躍の促進に関する法律」公布 ・「女性・平和・安全保障に関する行動計画」策定 ・「子ども子育て支援法」改正 ※国連「北京+20」記念会合 ※第3回国連防災会議(仙台)、「仙台防災枠組」採択 ※UNWomen日本事務所開設 ※「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs)採択 (目標5ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う)
28 [2016]	・主催講座—16講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、現代的課題、社会参画、子育て 6月・イーブルなごや・フェスティバル2016 「男女(みんな)で創ろう認め合う社会 ～その人らしく生きるために～」 女性の活躍推進キックオフイベント 経済評論家・ 内閣府男女共同参画会議議員・勝間和代 「女性の活躍でナゴヤはもっと輝く」	・「名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定 ・「名古屋市男女平等参画基本計画2020」策定 ・「名古屋市配偶者からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第3次)」策定	・「女性の活躍促進のための開発戦略」策定 ・「育児・介護休業法」及び「男女雇用機会均等法」等の改正 ・「女性の能力開花のためのG7行動指針」及び「女性の理系キャリア促進のためのイニシアティブ(WINDS)」に合意
29 [2017]	・主催講座—16講座 観点:女性の生き方、エンパワーメント、現代的課題、社会参画、子育て 6月・イーブルなごや・フェスティバル2017 「つながろう！ ひと・まち・未来が輝くために」 特別講演会 大正大学准教授・田中俊之 「女もつらいよ 男もつらいよ」	・女性の活躍、ワーク・ライフ・バランスを推進する「名古屋モデル」の構築	

※参考資料

「男女平等参画推進事業報告書」

名古屋市ウェブサイト「男女平等参画の歩み」

「国立女性教育会館40周年記念誌ダイジェスト版」

